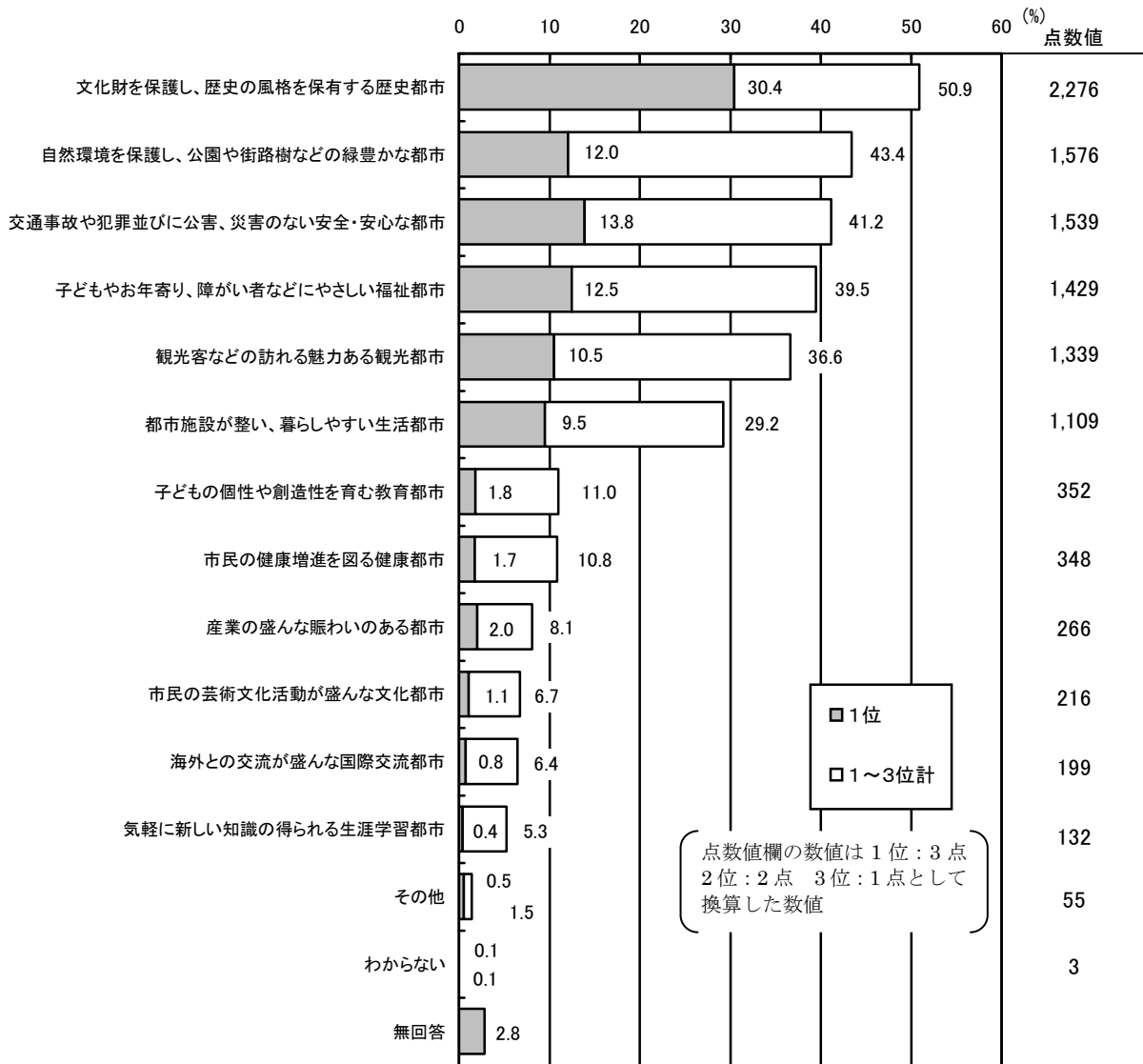


1. 奈良市の将来像について

1-1 将来の奈良市の望ましい姿

問1 あなたは、今後、長期を展望した上で、奈良市がどのような市になることが望ましいと思われますか。次の選択肢の中から、特に望まれるものの第1位から第3位までを選んで、その番号を下の回答欄に記入してください。

図 1-1 (将来の奈良市の望ましい姿) 【n=1,863】



今後、長期展望した上で、奈良市がどのような市になることが望ましいかと尋ねたところ、選択された項目全てをまとめると、最も割合が高かった項目は「文化財を保護し、歴史の風格を保有する歴史都市」で50.9%と半数以上の人を選択しており、次いで「自然環境を保護し、公園や街路樹などの緑豊かな都市（43.4%）」、「交通事故や犯罪並びに公害、災害のない安全・安心な都市（41.2%）」、「子どもやお年寄り、障がい者などにやさしい福祉都市（39.5%）」、「観光客などの訪れる魅力ある観光都市（36.6%）」の順となっている。1位を3点、2位を2点、3位を1点として数値換算した順位でも、選択された項目全てをまとめた順位と同様になっている。

また、1位選択でも最も割合が高かった項目は「文化財を保護し、歴史の風格を保有する歴史都市」で30.4%となっているが、続く項目では順位が入れ替わっており、「交通事故や犯罪並びに公害、災害のない安全・安心な都市（13.8%）」、「子どもやお年寄り、障がい者などにやさしい福祉都市（12.5%）」、「自然環境を保護し、公園や街路樹などの緑豊かな都市（12.0%）」の順となっている。

(図 1-1)

表 1-1-1 (年齢別 将来の奈良市の望ましい姿 選択項目全て)【単位：％】

	20～29歳 (n=161)	30～39歳 (n=289)	40～49歳 (n=267)	50～59歳 (n=367)	60～69歳 (n=380)	70歳以上 (n=360)
1位	文化財を保護し、歴史の風格を保有する歴史都市 54.0	交通事故や犯罪並びに公害、災害のない安全・安心な都市 46.7	文化財を保護し、歴史の風格を保有する歴史都市 50.2	文化財を保護し、歴史の風格を保有する歴史都市 51.2	文化財を保護し、歴史の風格を保有する歴史都市 54.7	文化財を保護し、歴史の風格を保有する歴史都市 52.8
2位	自然環境を保護し、公園や街路樹などの緑豊かな都市 43.5	子どもやお年寄り、障がい者などにやさしい福祉都市 44.6	交通事故や犯罪並びに公害、災害のない安全・安心な都市 48.7	自然環境を保護し、公園や街路樹などの緑豊かな都市 46.3	観光客などの訪れる魅力ある観光都市 42.1	自然環境を保護し、公園や街路樹などの緑豊かな都市 39.7
3位	交通事故や犯罪並びに公害、災害のない安全・安心な都市 42.2	文化財を保護し、歴史の風格を保有する歴史都市 42.6	自然環境を保護し、公園や街路樹などの緑豊かな都市 47.2	子どもやお年寄り、障がい者などにやさしい福祉都市 42.2	子どもやお年寄り、障がい者などにやさしい福祉都市 41.1	観光客などの訪れる魅力ある観光都市 38.3
4位	観光客などの訪れる魅力ある観光都市 36.6	自然環境を保護し、公園や街路樹などの緑豊かな都市 42.6	子どもやお年寄り、障がい者などにやさしい福祉都市 37.8	交通事故や犯罪並びに公害、災害のない安全・安心な都市 39.5	自然環境を保護し、公園や街路樹などの緑豊かな都市 40.8	交通事故や犯罪並びに公害、災害のない安全・安心な都市 38.3
5位	都市施設が整い、暮らしやすい生活都市 30.4	観光客などの訪れる魅力ある観光都市 36.0	観光客などの訪れる魅力ある観光都市 30.0	観光客などの訪れる魅力ある観光都市 35.1	交通事故や犯罪並びに公害、災害のない安全・安心な都市 37.1	子どもやお年寄り、障がい者などにやさしい福祉都市 36.4

選択した項目全てを年齢別にみると、ほとんどの年代で「文化財を保護し、歴史の風格を保有する歴史都市」が最も多くなっているが、30～39歳では「交通事故や犯罪並びに公害、災害のない安全・安心な都市」が46.7%で最も高くなっている。

「交通事故や犯罪並びに公害、災害のない安全・安心な都市」は、20～49歳の若い世代では割合が4割を超えており、順位も3位以上であるが、50歳以上の年代では4割以下で、順位も4位以下となっている。

また、20～29歳では、「都市施設が整い、暮らしやすい生活都市」が5位以内に入ってきており、「子どもやお年寄り、障がい者などにやさしい福祉都市」が5位以下となっている。(表 1-1-1)

表 1-1-2 (地域別 将来の奈良市の望ましい姿 選択項目全て)【単位：％】

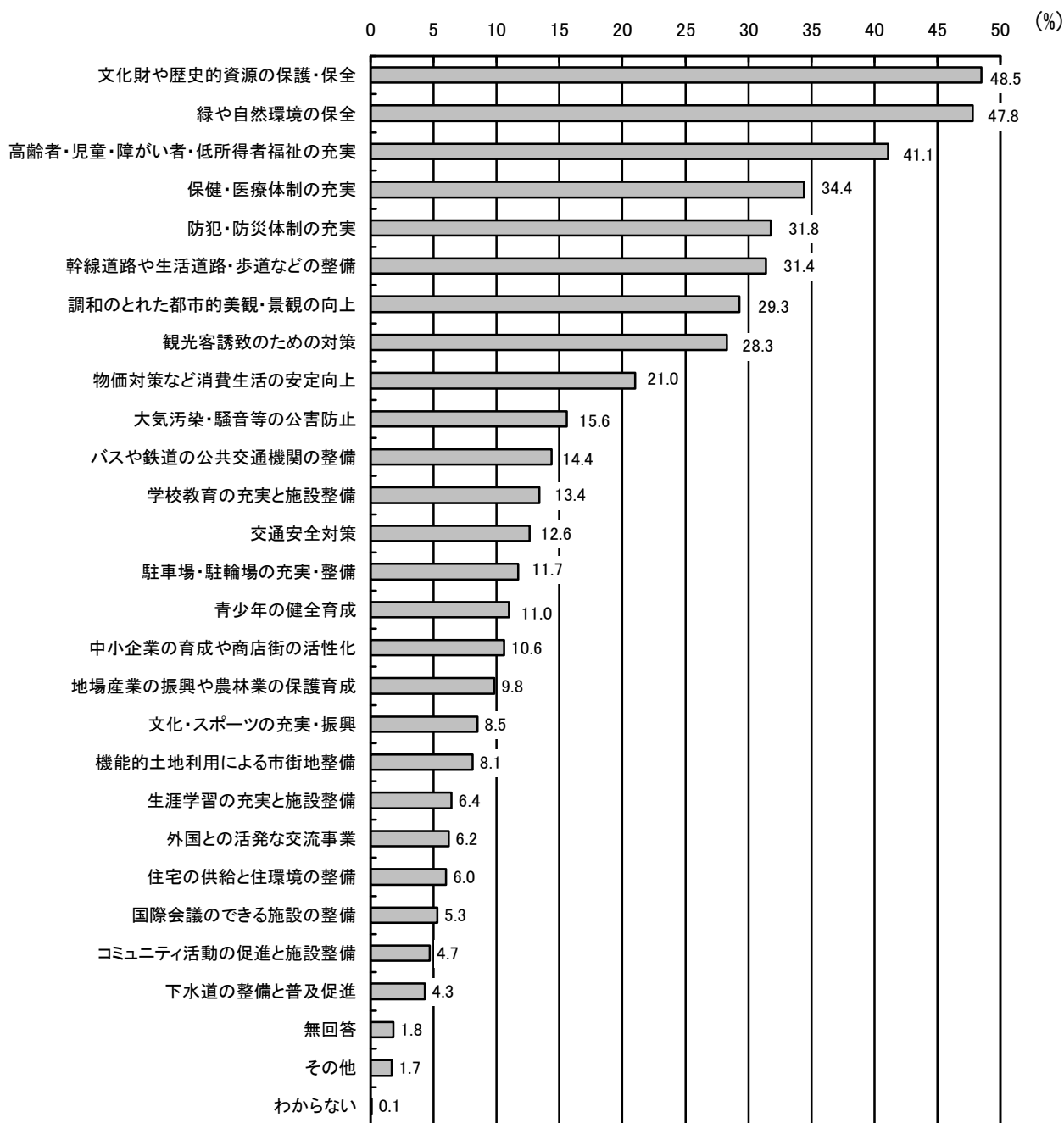
	西部地域 (n=874)	北部地域 (n=138)	中部地域 (n=121)	中央市街地 (n=470)	南部地域 (n=127)	東部地域 (n=33)	月ヶ瀬地域 (n=7)	都祁地域 (n=37)
1位	文化財を保護し、歴史の風格を保有する歴史都市 53.8	文化財を保護し、歴史の風格を保有する歴史都市 48.6	文化財を保護し、歴史の風格を保有する歴史都市 47.1	文化財を保護し、歴史の風格を保有する歴史都市 51.1	観光客などの訪れる魅力ある観光都市 44.9	子どもやお年寄り、障がい者などにやさしい福祉都市 54.5	観光客などの訪れる魅力ある観光都市 57.1	交通事故や犯罪並びに公害、災害のない安全・安心な都市 51.4
2位	自然環境を保護し、公園や街路樹などの緑豊かな都市 47.4	自然環境を保護し、公園や街路樹などの緑豊かな都市 48.6	交通事故や犯罪並びに公害、災害のない安全・安心な都市 47.1	交通事故や犯罪並びに公害、災害のない安全・安心な都市 41.3	交通事故や犯罪並びに公害、災害のない安全・安心な都市 44.1	文化財を保護し、歴史の風格を保有する歴史都市 45.5	交通事故や犯罪並びに公害、災害のない安全・安心な都市 42.9	文化財を保護し、歴史の風格を保有する歴史都市 40.5
3位	交通事故や犯罪並びに公害、災害のない安全・安心な都市 41.0	子どもやお年寄り、障がい者などにやさしい福祉都市 39.9	自然環境を保護し、公園や街路樹などの緑豊かな都市 40.5	観光客などの訪れる魅力ある観光都市 40.2	子どもやお年寄り、障がい者などにやさしい福祉都市 44.1	観光客などの訪れる魅力ある観光都市 39.4	文化財を保護し、歴史の風格を保有する歴史都市 28.6	自然環境を保護し、公園や街路樹などの緑豊かな都市 35.1
4位	子どもやお年寄り、障がい者などにやさしい福祉都市 39.9	交通事故や犯罪並びに公害、災害のない安全・安心な都市 39.1	子どもやお年寄り、障がい者などにやさしい福祉都市 38.0	自然環境を保護し、公園や街路樹などの緑豊かな都市 38.7	文化財を保護し、歴史の風格を保有する歴史都市 43.3	交通事故や犯罪並びに公害、災害のない安全・安心な都市 36.4	自然環境を保護し、公園や街路樹などの緑豊かな都市 28.6	観光客などの訪れる魅力ある観光都市 32.4
5位	観光客などの訪れる魅力ある観光都市 34.3	観光客などの訪れる魅力ある観光都市 34.8	観光客などの訪れる魅力ある観光都市 34.7	子どもやお年寄り、障がい者などにやさしい福祉都市 38.3	自然環境を保護し、公園や街路樹などの緑豊かな都市 33.9	都市施設が整い、暮らしやすい生活都市 33.3	子どもの個性や創造性を育む教育都市 ・産業の盛んな賑わいのある都市 28.6	都市施設が整い、暮らしやすい生活都市 29.7

選択した項目全てを地域別にみると、西部地域・北部地域・中部地域・中央市街地では、「文化財を保護し、歴史の風格を保有する歴史都市」が最も多くなっているが、南部地域・月ヶ瀬地域は「観光客などの訪れる魅力ある観光都市」、東部地域は「子どもやお年寄り、障がい者などにやさしい福祉都市(54.5%)」、都祁地域は「交通事故や犯罪並びに公害、災害のない安全・安心な都市(51.4%)」が最も多くなっている。また、東部地域・都祁地域では、「都市施設が整い、暮らしやすい生活都市」が5位以内に入ってきている。(表 1-1-2)

1-2 将来像の実現のために重点を置くべき施策

問2 それでは、あなたの考えられる奈良市の将来像の実現のために、行政施策として重点を置いて実施していくべきだとお考えになるのはどれでしょうか。(あてはまるもの5つ以内に○)

図 1-2 (将来像の実現のために重点を置くべき施策 5つ以内で複数回答)【n=1,863】



奈良市の将来像の実現のために、行政施策として重点を置いて実施していくべきだと思う項目では、「文化財や歴史的資源の保護・保全」が48.5%と最も多く、次いで「緑や自然環境の保全(47.8%)」が続き、「高齢者・児童・障がい者・低所得者福祉の充実(41.1%)」「保健・医療体制の充実(34.4%)」「防犯・防災体制の充実(31.8%)」の順となっている。(図 1-2)

表 1-2-1 (年齢別 将来像の実現のために重点を置くべき施策 5つ以内で複数回答)【単位：%】

	20～29歳 (n=161)	30～39歳 (n=289)	40～49歳 (n=267)	50～59歳 (n=367)	60～69歳 (n=380)	70歳以上 (n=360)
1位	文化財や歴史的資源の保護・保全 51.6	緑や自然環境の保全 46.0	緑や自然環境の保全 47.6	緑や自然環境の保全 58.0	文化財や歴史的資源の保護・保全 50.5	文化財や歴史的資源の保護・保全 54.7
2位	緑や自然環境の保全 46.0	防犯・防災体制の充実 40.5	文化財や歴史的資源の保護・保全 47.2	文化財や歴史的資源の保護・保全 49.9	高齢者・児童・障がい者・低所得者福祉の充実 49.7	高齢者・児童・障がい者・低所得者福祉の充実 45.8
3位	防犯・防災体制の充実 29.8	文化財や歴史的資源の保護・保全 37.7	防犯・防災体制の充実 41.2	高齢者・児童・障がい者・低所得者福祉の充実 44.4	緑や自然環境の保全 46.1	緑や自然環境の保全 40.8
4位	調和のとれた都市的美観・景観の向上 29.2	高齢者・児童・障がい者・低所得者福祉の充実 36.3	保健・医療体制の充実 36.3	保健・医療体制の充実 34.9	保健・医療体制の充実 32.9	保健・医療体制の充実 35.8
5位	高齢者・児童・障がい者・低所得者福祉の充実 28.6	保健・医療体制の充実 36.0	幹線道路や生活道路・歩道などの整備 31.1	幹線道路や生活道路・歩道などの整備 33.2	幹線道路や生活道路・歩道などの整備 31.8	観光客誘致のための対策 31.1

年齢別にみると、20～29歳・60～69歳・70歳以上では「文化財や歴史的資源の保護・保全」が、30～59歳では「緑や自然環境の保全」が最も多くなっており、特に50～59歳では58.0%と高い割合になっている。

「高齢者・児童・障がい者・低所得者福祉の充実」は、50歳以上の年代で上位にきており、4割を超えている。また、20～49歳では「防犯・防災体制の充実」が、30歳以上では「保健・医療体制の充実」が5位以内に入ってきている。「幹線道路や生活道路・歩道などの整備」は40～69歳で、20～29歳では「調和のとれた都市的美観・景観の向上」が、70歳以上では「観光客誘致のための対策」が5位以内に入ってきている。(表 1-2-1)

表 1-2-2 (地域別 将来像の実現のために重点を置くべき施策 5つ以内で複数回答)【単位：%】

	西部地域 (n=874)	北部地域 (n=138)	中部地域 (n=121)	中央市街地 (n=470)	南部地域 (n=127)	東部地域 (n=33)	月ヶ瀬地域 (n=7)	都祁地域 (n=37)
1位	緑や自然環境の保全 53.9	緑や自然環境の保全 53.6	文化財や歴史的資源の保護・保全 47.1	文化財や歴史的資源の保護・保全 47.9	高齢者・児童・障がい者・低所得者福祉の充実 50.4	高齢者・児童・障がい者・低所得者福祉の充実 57.6	緑や自然環境の保全 71.4	高齢者・児童・障がい者・低所得者福祉の充実 37.8
2位	文化財や歴史的資源の保護・保全 50.9	文化財や歴史的資源の保護・保全 52.2	幹線道路や生活道路・歩道などの整備 43.0	緑や自然環境の保全 41.9	文化財や歴史的資源の保護・保全 44.1	緑や自然環境の保全 42.4	観光客誘致のための対策 42.9	文化財や歴史的資源の保護・保全 32.4
3位	高齢者・児童・障がい者・低所得者福祉の充実 40.0	高齢者・児童・障がい者・低所得者福祉の充実 38.4	高齢者・児童・障がい者・低所得者福祉の充実 40.5	高齢者・児童・障がい者・低所得者福祉の充実 40.2	保健・医療体制の充実 40.9	文化財や歴史的資源の保護・保全 39.4	幹線道路や生活道路・歩道などの整備 42.9	緑や自然環境の保全 32.4
4位	保健・医療体制の充実 35.6	保健・医療体制の充実 37.0	緑や自然環境の保全 38.8	幹線道路や生活道路・歩道などの整備 31.7	幹線道路や生活道路・歩道などの整備 37.0	幹線道路や生活道路・歩道などの整備 39.4	保健・医療体制の充実 42.9	幹線道路や生活道路・歩道などの整備 29.7
5位	防犯・防災体制の充実 35.2	調和のとれた都市的美観・景観の向上 35.5	保健・医療体制の充実 32.2	観光客誘致のための対策 31.5	観光客誘致のための対策 34.6	・防犯・防災体制の充実 ・保健・医療体制の充実 30.3	文化財や歴史的資源の保護・保全等 28.6	観光客誘致のための対策 27.0

地域別に見ると、西部地域・北部地域・月ヶ瀬地域は「緑や自然環境の保全」、中部地域・中央市街地は「文化財や歴史的資源の保護・保全」、南部地域・東部地域・都祁地域は「高齢者・児童・障がい者・低所得者福祉の充実」の施策の要望が最も多くなっている。

また、西部地域・北部地域以外の地域では「幹線道路や生活道路・歩道などの整備」が5位以内に入っており、特に中部地域では2位に入っている。西部地域・東部地域では「防犯・防災体制の充実」が、北部地域では「調和のとれた都市的美観・景観の向上」が、中央市街地・南部地域・月ヶ瀬地域・都祁地域では「観光客誘致のための対策」が、5位以内に入っている。(表 1-2-2)